ISOC-JPについて

February 20, 2015 - ENOG31 橘 俊男(ISOC-JP)



自己紹介

- 橘 俊男(たちばなとしお)
 - twitter: @toshiotachibana
- 2015年のISOC-JPでの役職
 - Vice Chair
- 主な活動フィールド
 - 番号資源管理コミュニティ(Policy-WG Chair)
 - IGCJを考える会メンバー
 - インターネットテクニカルコミュニティ全般
- 所属
 - ・グリー株式会社



今日の内容

- ISOCについて
- ISOC-JPについて
- ISOC-JPの活動について



ISOC(Internet Society)

- ・1992年設立の国際非営利組織
- ・設立時は「インターネットに使用する技術の標準化をサポートする事」が目的
 - IETFのサポート
- 現在は「インターネットの発展を牽引する」機能を持った組織として活動中
- キーワードは「Internet for everyone」



ISOCの組織構造

- 会員制度
 - Global Member(会費無料)
 - Sustaining Member(75USD/年)
- 個人会員
 - 約65000人
- 組織会員
 - 145組織
- 地域支部(Chapter)
 - 100以上
 - ISOC-JPも地域支部の一つ



ISOCの組織構造

- 地域支部(Chapter)
 - ・ コミュニティ単位で組成 (国や地域単位ではない)
 - ISOCの理念に基づいた活動と地域に特化した活動

・ 地域支部に求める活動の例

- Educational events
- Community programmes
- Public policy programmes
- Networking events







ISOCの運営

- BoT(Board of Trustee)
 - 3名から15名の間(現在は13名)
 - 任期 3 年
 - ・選出手法毎の割り当て数
 - 組織会員選出 4
 - 江崎浩氏(2014-2017)
 - 地域支部選出 4
 - IETFによる任命 4
 - BoTによる任命 最大3



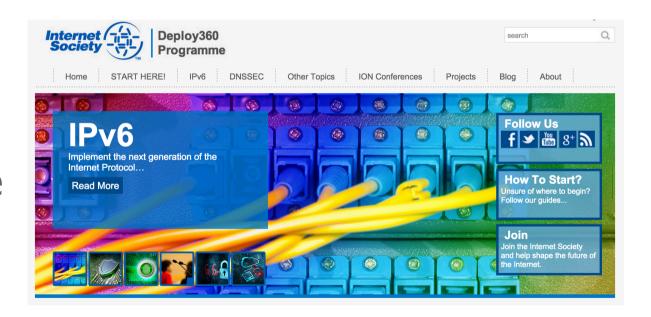
ISOCの活動

- 自由なインターネットへのアクセスの為に
 - 各地域での法制度議論への提言
 - インターネットの管理統制についての提言
- 技術標準の策定と普及の支援
 - IFTF
 - Delopy360 Programme
- インターネットの普及への支援
- 表彰
 - Jonathan B. Postel Service Awards
 - Itojun Service Awards



Deploy360

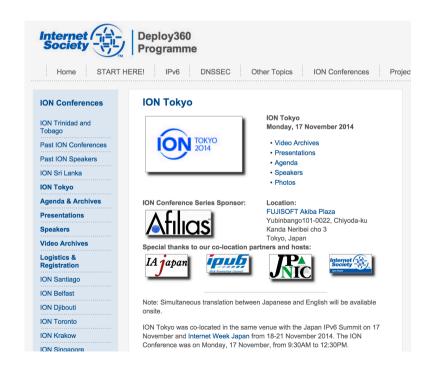
- ・技術の標準化と普及の間を埋める活動
 - IPv6
 - DNSSEC
 - Securing BGP
 - TLS
 - Anti-Spoofing
 - ION Conference





ION Conference

- Deploy360 Programmeの対象技術に付いて普及とノウ ハウの共有の機会を提供する為に世界各国で実施
 - 2014年11月にION Tokyo 2014を開催
 - ISOC-JPはローカルホストとして会議運営と話者の決定に協力





ISOC-JP

- 1994年に設立
 - 地域支部制度の第一号
 - 活動停滞のため「再活性化が必要な地域支部」扱いに
- ・2010年から再活性化活動開始
 - 2012年に再び地域支部認定を受けて活動再開
- 2015 Officer(2014年総会にて選出、役職を互選で決定)
 - Chair: 藤崎 智宏 Tomohiro FUJISAKI
 - Vice Chair: 橘 俊男 Toshio TACHIBANA
 - Program Chair: 西塚 要 Kaname NISHIZUKA
 - Secretary: 中島 博敬 Hiritaka NAKAJIMA
 - Treasurer: 宇井 隆晴 Takaharu UI



ISOC-JP会員

- •約350人(2015.1現在)
- 入会方法
 - ISOC会員になり、その中での参加Chapterとして Japanを選択する事で会員となる
- ・コミュニケーション
 - メンバー用ML
 - ISOC会員システムからの通知によりofficerが手動で登録



他国のISOC地域支部の状況

- フォーカス
 - developing countryにおいてはインターネットの普及 そのものが活動の第一命題になるケースがある
- 成り立ち
 - 政府との連携が強い地域支部もある
- ・地域内のコミュニティの有無
 - インターネットに関するコミュニティは技術、政策面を 問わずISOC Local Chapterがまとめて運営している事 がある



ISOC-JPおよび日本はというと

- ・フォーカス
 - 既にブロードバンドが普及しており、普及そのものが目的とはならない
- 成り立ち
 - 政府との直接の連携は少なく基本は民間のコミュニティである
- ・地域内のコミュニティの有無
 - 日本にはインターネットにまつわる多くの技術コミュニティが大小問わず存在する



ISOC-JPの活動における考え方

- 日本からの国際的貢献を増やすチャレンジを行う
 - 技術/ガバナンス領域を問わず
 - インターネットの発展の為に
- 国内の既存コミュニティをリスペクトする
 - 技術領域によって存在する既存コミュニティとの連携を 重要視する
 - 独自の活動をやりつつも既存の活動についてもフォロー して紹介等を行う



ISOC-JPの活動における考え方

- 国外からの連携希望の接続点を目指す
 - 海外からみるとISOCの地域支部はコンタクトポイントとして有用であり、ここへ問い合わせれば該当する話題について解決する事ができるかもしれないという期待がある



ISOC-JP活動

- 主催イベントの実施
 - IETF報告会
 - ISOC-JP勉強会
- ALS Japan(ICANN At Large Structure) #192運営
- 後援イベント
 - IPv6 Summit
 - 一般財団法人インターネット協会主催
 - Internet Week 2014 JPNIC主催
 - インターネットコンファレンス2014 ITRC/ITECH/jus/WIDE主催



皆さんのご参加をお待ちしております

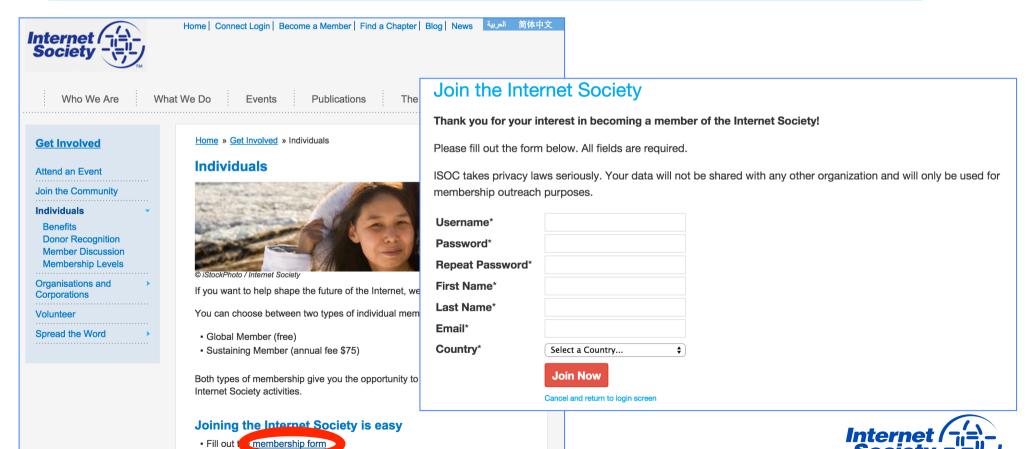
Jobal or Sustaining member

Provide your payment information if you decide to be a Sustaining member

• ISOC会員になるには

Choose if you

http://www.internetsociety.org/get-involved/individuals



Japan Chapter



One more things

- ISOC-JPに参加していただきたいのは事実ですが
- 耳寄りはお話を一つ
- ・それは
- Chapterは誰でも作れるという事です
 - Chapterは国や地域に一つだけという縛りはありません
 - 米国やインドでは都市(地域)単位で設立されてます
- Chapterの作り方を少しお話しします



Chapterの作り方

- コミュニティをつくる
 - ゴールを設定
 - 必要なリソースの定義
- ・コミュニティがISOCの考える次の点について同意できるかを確認する
 - ・理念/ミッション/目的とゴール
- ・応募書式を埋める
 - bylaws(定款)の添付が必要です
 - ISOCへ提出するので英語である必要があります
- 承認を受けた後、bylawsに沿って運営する



Chapterのベネフィット

- 大きなコミュニティの仲間を得ることができます
- Chapter間のコミュニケーションチャネルができます
- Chapter選出のBoT選挙への投票権
- 資金提供を受ける事の出来るプログラムがあります
 - Community Grants
 - コミュニティにとって有益なプロジェクトへの拠出
 - 期間の上限は24ヶ月
 - ・ 最大で10,000USD
 - Chapter運営上必要な拠出への補助
 - 備品や組織運営に必要なものの購入
 - ・ 金額は年度により変化する



各種情報

- ISOC-JP
 - http://www.isoc.jp/
- Internet Society
 - http://internetsociety.org/
- ISOC会員登録ページ
 - http://www.internetsociety.org/get-involved/ individuals

